



日本共産党

前豊島区議会議員

2021年 7月号

森とおる NEWS

森とおる
事務所発行

東京都豊島区上池袋3-46-2
東京都豊島区南大塚1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-6-12 TEL 03(6912)0135

コロナ禍の今、誰もが生きやすい社会のために

ジェンダー平等の社会へ

ジェンダーって？

ジェンダー (gender) とは、生物学的な性別に対し、社会的・文化的に形成された性別を指します。「女らしさ、男らしさ」「女性は育児、男性は泣くな」など、女性は男性はこうあるべきだという考え方や性別により異なる考え方は、社会的に構築されてきました。こうしたジェンダーに関する考え方は時代や国により変わります。

コロナ禍で浮かびあがるジェンダー不平等

新型コロナウイルスはジェンダー不平等社会の実態を浮かびあがらせました。女性、子どもなど弱い立場の人々が、より大きなしわ寄せを受けています。女性の家事負担はいつそう増加し、シングルマザーの貧困はますます深刻になっています。政府や東京都のコロナ対策はいまだに女性を取り残しています。

今こそジェンダー平等の社会へ

SDGs はすべての課題にジェンダーを盛り込んでいます。あらゆる施策の立案、実施、その影響の検証にジェンダーの視点を組み込むことを示しています。国の政策がジェンダーにより格差を生じさせていないか、女性の参画を促進しているかなどに焦点を当てることが求められています。

日本共産党は綱領に「ジェンダー平等社会をつくる」という政策を示しています。国、各自治体において誰もが生きやすい社会にするために取り組んでいます。

2021年 ジェンダーギャップ指数

日本は 156 か国中 120 位

先進7カ国 (G7) では最下位

1位	アイスランド
2位	フィンランド
3位	ノルウェー
4位	ニュージーランド
5位	スウェーデン
11位	ドイツ
16位	フランス
23位	英国
24位	カナダ
30位	米国
63位	イタリア
79位	タイ
81位	ロシア
87位	ベトナム
101位	インドネシア
102位	韓国
107位	中国
119位	アングラ
120位	日本
121位	シエラレオネ

